



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月12日

上場会社名 株式会社豆蔵 上場取引所 東  
コード番号 202A URL <https://mamezo.tech/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中原 徹也  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 泉 健憲 TEL 03-6258-1134  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	4,529	—	1,942	—	1,955	—	2,942	—
2025年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	183.32	178.48
2025年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、2025年3月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、2026年3月期第3四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2025年3月期第3四半期の経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。なお、2025年12月31日付で従前のとおり連結したと仮定した場合の情報については、後述の〔参考資料〕をご参照ください。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	4,425	3,148	71.1
2025年3月期	1,818	1,650	90.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 3,148百万円 2025年3月期 1,650百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2026年3月期	—	30.00	—		
2026年3月期（予想）				0.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,437	—	2,393	—	2,393	—	3,207	—	199.82

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2026年3月期第3四半期会計期間より連結決算から非連結決算に移行したため、対前期増減率は記載しておりません。なお、従前のとおり連結したと仮定した場合の情報については、後述の〔参考資料〕をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	16,050,000株	2025年3月期	16,050,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	－株	2025年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	16,050,000株	2025年3月期3Q	16,034,364株

（注）当社は、2024年4月15日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、資料P. 4「1.（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は2026年1月23日付で公表されましたRoodhalsgans 1株式会社による当社株券等に対する公開買付けにより、最終的に完全子会社化され、上場廃止となる予定であります。決算説明資料は任意開示であること、また、上場廃止が予定されている状況を鑑み、決算補足説明資料は作成・開示しないことといたしました。

[参考資料]

当社は、2025年10月1日付にて当社の完全子会社であった株式会社豆蔵、株式会社コーワメックス、及び株式会社エヌティ・ソリューションズを吸収合併したことにより連結子会社が存在なくなり、非連結決算会社となりました。そのため、2026年3月期の経営成績は、2025年4月1日から2025年9月30日における子会社であった上記3社の業績が反映されておられません。2025年12月31日付で従前のおり連結したと仮定した場合の連結経営成績（累計）[参考資料]は、以下のとおりです。

(注)2025年6月25日開催の定時株主総会の決議により、2025年10月1日をもって当社商号を株式会社豆蔵デジタルホールディングスから株式会社豆蔵へ変更いたしました。

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	8,699	11.0	1,691	16.7	1,703	19.3	1,182	24.8
2025年3月期第3四半期	7,837	8.0	1,449	5.0	1,427	2.3	947	3.4

(注) 包括利益      2026年3月期第3四半期      1,182百万円 (24.8%)      2025年3月期第3四半期      947百万円 (3.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	73.68	71.73
2025年3月期第3四半期	59.11	57.75

(注) 1. 当社は、2024年4月15日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 当社は、2024年6月27日付で東京証券取引所グロース市場に上場したため、2025年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新規上場日から2025年3月期第3四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

当社は、2025年10月1日付にて当社の完全子会社であった株式会社豆蔵、株式会社コーワメックス、及び株式会社エヌティ・ソリューションズを吸収合併したことにより連結子会社が存在なくなり、非連結決算会社となりました。そのため、2026年3月期の経営成績は、2025年4月1日から2025年9月30日における子会社であった上記3社の業績が反映されておられません。仮に、2026年3月31日まで連結決算を継続した場合の通期連結業績予想値は以下のとおりです。

(注)2025年6月25日開催の定時株主総会の決議により、2025年10月1日をもって当社商号を株式会社豆蔵デジタルホールディングスから株式会社豆蔵へ変更いたしました。

2. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,607	10.0	2,142	3.5	2,140	4.3	1,447	0.9	90.17

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当社は、2025年10月1日付にて当社の完全子会社であった株式会社豆蔵、株式会社コーワメックス及び株式会社エヌティ・ソリューションズの3社を吸収合併（略式合併）いたしました。これにより、2026年3月期第3四半期累計期間より従来連結で行ってございました開示を単体での開示に変更いたしました。なお、当第3四半期累計期間は、単体決算初年度にあたるため、前年同四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率等の比較分析は行っておりません。

（注）当社は、2025年3月31日開催の取締役会の決議により、2025年10月1日をもって当社商号を株式会社豆蔵デジタルホールディングスから株式会社豆蔵へ変更いたしました。

また、四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外であり、文中における「参考資料」としての数値及び比較分析等についても公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外となります。

当第3四半期累計期間（2025年4月1日から2025年12月31日まで）におけるわが国経済は、高水準の賃上げに伴う実質賃金の改善を背景に、個人消費が持ち直しの動きを見せたほか、企業のDX（注1）や生成AI（注2）の実装、省人化に向けた設備投資意欲が底堅く推移したことなどから、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、円安基調の継続や輸入物価の高止まりによる影響に加え、米国の通商政策の変化に対する懸念や地政学リスクの長期化など、依然として先行き不透明な状況が続いています。

当社の事業領域では、企業のDX投資が概念検証（PoC）から企業の全社的な実践と成果創出の段階へ移行し、IT投資は依然として極めて高い水準にあります。特に、AIや生成AIを業務プロセスやサービスに統合することや、クラウドネイティブなデータ利活用基盤を構築することが加速しています。更には、モビリティ分野におけるSDV（注3）化の進展や、食品・物流等の非定型・多品種少量現場でのAIロボティクス導入など、当社の専門性が直結する領域で需要が急拡大しています。また、多くの企業において、高度AI人材の深刻な不足や、複雑な現場工程の自動化におけるノウハウ不足が続いており、単なるシステム導入に留まらず、顧客社内への技術転移と人材育成を伴う内製化支援の重要性が一層高まっています。

このような市場環境のもと、当社は「CREATE THE FUTURE TOGETHER～AIソフトウェア工学のチカラで、共にデジタル世界を創造する～」をミッションに掲げ、技術力という武器を十分に活用しつつ、資産や組織能力を深化させ、最新のコンピュータ技術を駆使し、情報サービス関連事業を通じてお客様企業の業務を変革するサービスの提供を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間において売上高は4,529,654千円、営業利益は1,942,244千円、経常利益は1,955,911千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,942,336千円となりました。

〔参考資料〕記載の通り、2025年12月31日付で従前のとおり連結と仮定した場合の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高8,699,060千円（前年同期比11.0%増）、営業利益1,691,368千円（前年同期比16.7%増）、経常利益1,703,539千円（前年同期比19.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,182,527千円（前年同期比24.8%増）となりました。

当社は情報サービス関連事業の単一セグメントですが、サービス区分別の経営成績は次の通りであります。

（注）下記各サービス区分別の経営成績は、2025年12月31日付で従前のとおり連結と仮定した場合の業績です。

#### （クラウドコンサルティング）

当第3四半期累計期間は、基幹システムの刷新に伴うクラウド移行案件を中心に、AIネイティブなシステム基盤への高度化・モダナイゼーション案件が受注を牽引しました。単なる技術支援に留まらず、お客様ニーズに合わせたビジネスモデル、組織変革やプロセス設計の支援も堅調に推移しています。また、「Microsoft Dynamics 365 Finance、Microsoft Dynamics 365 Supply Chain Management」を中心としたERP（注4）ソリューションにおいても、サプライチェーンのリアルタイム最適化ニーズを背景に導入支援案件が引き続き好調に推移しました。

その結果、売上高は3,014,073千円（前年同期比11.1%増）、売上総利益は1,113,585千円（前年同期比21.6%増）となりました。

#### （AIコンサルティング）

当第3四半期累計期間は、生成AIの活用が概念検証（PoC）から顧客企業全社的な実戦配備・内製化のフェーズへと移行したことにより、コンサルティング案件の規模が拡大しました。AIエージェント開発支援、AIを活用した新規プロジェクト開発支援、大規模言語モデル（LLM）を活用したデータ利活用基盤の構築支援などが好調に推移しています。

その結果、売上高は580,269千円（前年同期比0.9%増）、売上総利益は243,191千円（前年同期比21.1%増）と

なりました。

（AIロボティクス・エンジニアリング）

当第3四半期累計期間は、労働力不足が深刻な食品や物流分野などの「ロングテール市場」におけるロボットによる自動化支援が業績を牽引しました。特に、非定型作業をAIで制御する新型ロボットの社会実装や、製造現場の生産性を抜本的に高めるAIロボティクス導入支援案件が順調に拡大しました。自動車関連では、OEMメーカー向けのSDV化やADAS（注5）支援に加え、グループ統合によるリソースの最適化が進み、戦略的人材育成サービスも安定的な収益基盤となりました。

その結果、売上高は1,541,443千円（前年同期比13.0%増）、売上総利益は388,903千円（前年同期比7.5%減）となりました。

（モビリティ・オートメーション）

当第3四半期累計期間は、自動車業界におけるSDV化の加速を背景に、車載ソフトウェアの開発環境構築やアーキテクチャ策定支援案件が堅調に推移しました。CASE（注6）関連の開発やADAS分野に加え、MBSE（注7）を活用した高度なモーター制御支援も受注が拡大しています。また、航空宇宙分野では大型案件の受注が進み、ファクトリーオートメーション分野では、AIとIoTを統合したスマートファクトリー化支援において、生産ラインの完全自動化に向けたコンサルティングが高く評価されました。

その結果、売上高は3,563,273千円（前年同期比11.8%増）、売上総利益は1,218,906千円（前年同期比18.3%増）となりました。

- （注） 1. DX：Digital Transformationの略。企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。
2. AI：Artificial Intelligenceの略。人間の知的能力をコンピュータ上で実現する、様々な技術・ソフトウェア・コンピュータシステムのこと。
3. SDV：Software Defined Vehicleの略。車と外部との間の双方向通信機能を使って車を制御するソフトウェアを更新し、販売後も機能を増やしたり性能を高めたりできる自動車のこと。
4. ERP：Enterprise Resource Planningの略。企業全体を経営資源の有効活用の観点から統合的に管理し、経営の効率化を図るための手法・概念のこと。転じて、これを実現するための統合型（業務横断型）ソフトウェア（統合基幹業務システム）を「ERPパッケージ」もしくは「ERP」と呼ぶ。
5. ADAS：Advanced Driver-Assistance Systemsの略。先進運転支援システム。ドライバーの安全性を確保するための運転支援機能の総称。車間距離の自動制御装置、前方衝突の警告機能、衝突回避のための自動ブレーキ機能、道路標識を自動認識して警告する機能などがある。
6. CASE：Connected（コネクティッド）、Autonomous（自動運転）、Shared（カーシェアリングとサービス）、Electric（電気自動車）という、自動車業界の今後の方向性を定義づける4つのテーマの頭文字を繋げた用語。
7. MBSE：Model-Based Systems Engineeringの略。開発過程で検討対象となるあらゆるものをモデル化して取り扱う考え方で、複数のシステムが相互に関連しあってサービスを提供するような複雑なシステムを構築するのに有用な手法。

それぞれのサービス区分の内容は以下の通りとなります。

サービス区分	事業の内容
クラウドコンサルティング	幅広い業種の手企業に対して、クラウドをはじめとする最先端技術を活用した内製化推進コンサルティング、ERP導入、教育サービス等をご提供しています。
AIコンサルティング	デジタルトランスフォーメーションを推進する企業に対して、AIを活用したデータ利活用、システムの企画、設計、アルゴリズムの開発およびコンサルティング、生成AI導入支援サービスをご提供しています。
AIロボティクス・エンジニアリング	自動車・ロボット等の組込系システムを扱う企業に対してAIソフトウェア開発の技術導入支援、モデルベース開発（MBSE）、プロセス改善等のコンサルティング及び開発をご提供しています。
モビリティ・オートメーション	自動車・航空宇宙・船舶分野に関連したAIソフトウェア・ハードウェアの開発支援並びに教育サービス、ファクトリーオートメーション実現に向けたコンサルティングをご提供しています。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末における資産総額は当社の完全子会社であった株式会社豆蔵、株式会社コーワメックス及び株式会社エヌティ・ソリューションズの3社を吸収合併したことにより4,425,127千円となり、前事業年度末に比べ2,606,151千円増加いたしました。流動資産は3,166,362千円増加、固定資産は560,211千円減少しております。流動資産においては現金及び預金が1,433,107千円増加、売掛金が1,261,351千円増加、契約資産が242,885千円増加したことによるものです。固定資産においては機械及び装置（純額）が123,623千円増加、ソフトウェアが284,877千円増加、敷金及び保証金が59,544千円増加、保険積立金が98,025千円増加、関係会社株式が1,264,213千円減少したことによるものです。

当第3四半期会計期間末における負債総額は当社の完全子会社であった株式会社豆蔵、株式会社コーワメックス及び株式会社エヌティ・ソリューションズの3社を吸収合併したことにより1,276,765千円となり、前事業年度末に比べ1,108,314千円増加いたしました。主な要因は流動負債において買掛金が186,110千円増加、短期借入金が200,000千円増加、未払費用が186,259千円増加、未払消費税等が127,507千円増加、賞与引当金が138,997千円増加したことによるものです。

当第3四半期会計期間末における純資産は3,148,362千円となり、前事業年度末に比べ1,497,836千円増加いたしました。これは主に当社の完全子会社であった株式会社豆蔵、株式会社コーワメックス及び株式会社エヌティ・ソリューションズの3社を吸収合併したことによるものです。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年11月12日に「非連結決算への移行、2026年3月期個別業績予想および特別利益の計上に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

なお、当業績予想につきましては、同資料の発表時点において当社が入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	350,742	1,783,850
売掛金	57,292	1,318,643
契約資産	—	242,885
製品	—	43,278
仕掛品	—	22,064
原材料	—	62,906
その他	16,019	116,788
流動資産合計	424,054	3,590,417
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	40,309	94,724
機械及び装置（純額）	—	123,623
工具、器具及び備品（純額）	4,097	27,786
リース資産（純額）	—	2,171
有形固定資産合計	44,406	248,305
無形固定資産		
ソフトウェア	399	285,276
その他	279	955
無形固定資産合計	679	286,232
投資その他の資産		
関係会社株式	1,264,213	—
敷金及び保証金	44,508	104,052
保険積立金	5,462	103,487
繰延税金資産	33,268	76,919
その他	2,382	15,712
投資その他の資産合計	1,349,836	300,172
固定資産合計	1,394,921	834,710
資産合計	1,818,976	4,425,127



(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	—	186,110
短期借入金	100,000	300,000
リース債務	—	666
未払金	8,113	66,014
未払費用	17,323	203,582
未払法人税等	15,251	105,691
未払消費税等	22,542	150,049
賞与引当金	—	138,997
その他	5,219	113,967
流動負債合計	168,450	1,265,079
固定負債		
リース債務	—	1,777
資産除去債務	—	9,907
固定負債合計	—	11,685
負債合計	168,450	1,276,765
純資産の部		
株主資本		
資本金	130,714	130,714
資本剰余金		
資本準備金	31,214	31,214
資本剰余金合計	31,214	31,214
利益剰余金		
利益準備金	24,500	24,500
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,463,870	2,961,707
利益剰余金合計	1,488,370	2,986,207
株主資本合計	1,650,298	3,148,135
新株予約権	226	226
純資産合計	1,650,525	3,148,362
負債純資産合計	1,818,976	4,425,127

## （2）四半期損益計算書

（単位：千円）

	当第3四半期累計期間 （自2025年4月1日 至2025年12月31日）
売上高	4,529,654
売上原価	1,892,262
売上総利益	2,637,392
販売費及び一般管理費	695,148
営業利益	1,942,244
営業外収益	
受取利息	1,026
助成金収入	21,661
その他	740
営業外収益合計	23,428
営業外費用	
支払利息	822
保険解約損	7,937
その他	1,001
営業外費用合計	9,761
経常利益	1,955,911
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	1,178,921
固定資産売却益	38
特別利益合計	1,178,959
税引前四半期純利益	3,134,871
法人税、住民税及び事業税	92,605
法人税等調整額	99,929
法人税等合計	192,534
四半期純利益	2,942,336

## [参考資料]

当社は、2025年10月1日付にて当社の完全子会社であった株式会社豆蔵、株式会社コーワメックス、及び株式会社エヌティ・ソリューションズを吸収合併したことにより連結子会社が存在しなくなり、非連結決算会社となりました。そのため、2026年3月期の経営成績は、2025年4月1日から2025年9月30日における子会社であった上記3社の業績が反映されておられません。2025年12月31日付で従前のおり連結したと仮定した場合の連結経営成績（累計）[参考資料]は、以下のとおりです。

（注）2025年6月25日開催の定時株主総会の決議により、2025年10月1日をもって当社商号を株式会社豆蔵デジタルホールディングスから株式会社豆蔵へ変更いたしました。

## （2）四半期連結損益計算書

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自2024年4月1日 至2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自2025年4月1日 至2025年12月31日）
売上高	7,837,614	8,699,060
売上原価	5,269,900	5,734,473
売上総利益	2,567,713	2,964,586
販売費及び一般管理費	1,118,123	1,273,217
営業利益	1,449,590	1,691,368
営業外収益		
受取利息	22	555
助成金収入	5,612	21,911
その他	526	3,172
営業外収益合計	6,161	25,639
営業外費用		
支払利息	333	845
上場関連費用	25,406	—
保険解約損	—	11,478
その他	2,532	1,144
営業外費用合計	28,272	13,468
経常利益	1,427,479	1,703,539
特別利益		
固定資産売却益	—	38
特別利益合計	—	38
特別損失		
固定資産除却損	7,896	0
特別損失合計	7,896	0
税金等調整前四半期純利益	1,419,583	1,703,577
法人税、住民税及び事業税	395,642	424,134
法人税等調整額	76,146	96,915
法人税等合計	471,789	521,049
四半期純利益	947,794	1,182,527
親会社株主に帰属する四半期純利益	947,794	1,182,527

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当社グループの事業内容は情報サービス関連事業のみであり、区分すべき事業セグメントは存在しません。  
従って報告セグメントも単一であるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間において繰越利益剰余金が1,497,836千円増加し、当第3四半期会計期間末において利益剰余金は2,961,707千円となっております。主な要因は株式会社豆蔵、株式会社コーワメックス、及び株式会社エヌティ・ソリューションズを吸収合併したことによるものです。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日)
減価償却費	38,731千円

## （重要な後発事象）

（Roodhalsgans 1 株式会社による当社株券等に対する公開買付け）

当社は、2026年1月23日開催の取締役会において、同日公表の「Roodhalsgans 1 株式会社による当社株券等に対する公開買付けに関する賛同及び応募中立の意見表明のお知らせ」のとおり、Roodhalsgans 1 株式会社（以下「公開買付者」といいます。）による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）及び本新株予約権（下記「2. 買付け等の価格」の「（2）新株予約権」において定義します。以下同じです。また、「当社株式」及び「本新株予約権」を総称して、「当社株券等」といいます。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に関して、賛同の意見を表明するとともに、本公開買付けに応募するか否かについては、中立の立場をとり、当社の株主の皆様及び本新株予約権の所有者の皆様のご判断に委ねる旨を決議いたしました。

なお、上記取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後の一連の手続を経て、当社を公開買付者の完全子会社とすることを企図していること、並びに当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。

詳細につきましては、2026年1月23日公表の「Roodhalsgans 1 株式会社による当社株券等に対する公開買付けに関する賛同及び応募中立の意見表明のお知らせ」をご参照ください。

## 1. 公開買付者の概要

（1）	名 称	Roodhalsgans 1 株式会社
（2）	所 在 地	東京都港区麻布台一丁目3番1号麻布台ヒルズ森JPタワー17階
（3）	代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 ライアン・ロバート・パトリック
（4）	事 業 内 容	当社の株券等を取得及び所有し、当社の事業活動を支配及び管理すること
（5）	資 本 金	25,000円（2025年12月31日現在）
（6）	設 立 年 月 日	2025年11月28日
（7）	大 株 主 及 び 持 株 比 率 （2025年12月31日現在）	Roodhalsgans 2 株式会社 100%
（8）	当社と公開買付者の関係	
	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

## 2. 買付け等の価格

（1）普通株式1株につき、金3,551円

（2）新株予約権（以下の①乃至④の新株予約権を総称して、以下「本新株予約権」といいます。）

- ① 2021年4月2日開催の当社取締役会の決議に基づき発行された第1回新株予約権（行使期間は2021年4月16日から2027年3月31日）1個につき、金634円
- ② 2021年4月2日開催の当社取締役会の決議に基づき発行された第2回新株予約権（行使期間は2021年4月16日から2027年3月31日）1個につき、金634円
- ③ 2021年4月2日開催の当社取締役会の決議に基づき発行された第3回新株予約権（行使期間は2021年4月16日から2027年3月31日）1個につき、金634円
- ④ 2022年12月28日開催の当社取締役会の決議に基づき発行された第4回新株予約権（行使期間は2022年12月29日から2027年3月31日）1個につき、金550円

## 3. 買付予定の株券等の数

株券等の種類	買付予定数	買付予定数の下限	買付予定数の上限
普通株式	5,637,700（株）	—（株）	—（株）
合計	5,637,700（株）	—（株）	—（株）

## 4. 買付け等の期間

2026年1月26日（月曜日）から2026年3月10日（火曜日）まで（30営業日）